

株式会社ウェルサイクル環境経営レポート

活動期間 2024年 10月1日～2025年 9月30日

作成日 2026年1月

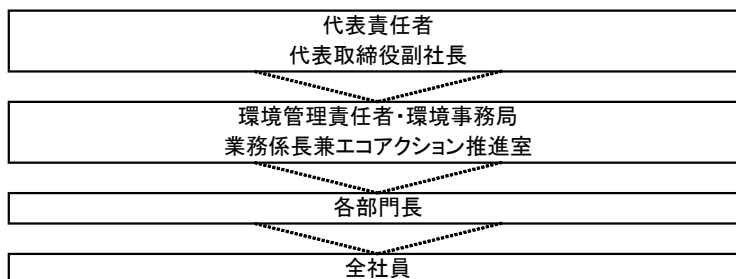
目

次

1. 組織の概要	
(1) ~ (11)	P 1~4
2. 環境経営方針	P 5
3. 環境経営計画	P 6
4. 環境経営目標	P 7
5. 環境経営目標の実績とその評価、次年度の取組み課題	P 7
6. 環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果	P 8
7. 代表者による全体の評価と見直し	P 8

1. 組 織 の 概 要

- (1) 事業者名 株式会社 ウェルサイクル
- (2) 所在地 本社工場 長野県上田市天神3-11-40
 長野出張所 長野県長野市東和田718-1 1F
- (3) 代表者 代表取締役副社長 小山 和彦
- (4) 環境管理責任者 業務係長兼エコアクション推進室 宮本 一幸
- (5) 連絡先 TEL 0268-26-1820 FAX 0268-26-1840
 E-mail: ito-m@bz04.plala.or.jp
 HP: http://wellcycle.jp
- (6) 事業活動内容
 ・一般廃棄物収集運搬業、一般廃棄物処分業
 ・産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物処分業
- (7) 事業規模
 ・法人設立年月日 平成13年10月19日
 ・資本金 1千万円
 ・2025年度売上高 714百万円
 ・従業員数 62 名
- (8) 認証登録範囲 全組織・全活動
- (9) エコアクション21 組織図



(10) 役割・権限

代表責任者	・環境経営における全責任
	・環境経営方針の決定と社員への周知
	・全体の評価と見直し、指示
環境管理責任者 環境事務局	・EMSのPDCA
	・各部門長への声掛け等
各部門長	・環境管理責任者の補佐
	・各部門の社員への声掛け等
全社員	・環境経営方針等を理解し、取り組む
	・安全作業、安全運転の励行

(1) 許可の概要

① 事業活動に関する許可一覧

許可の区分	行政区分	許可番号	許可年月日	許可の有効期限
産業廃棄物処分業許可	長野県	2021097948	R6.2.17	R11.2.16
産業廃棄物 収集運搬業許可	長野県	2011097948	R4.8.21	R9.8.20
	新潟県	01509097948	R3.9.13	R8.9.1
	群馬県	01000097948	R4.2.4	R8.9.12
一般廃棄物処分業	上田市	2002	R7.4.1	R9.3.31
一般廃棄物 収集運搬業許可	上田市	1101	R7.4.1	R9.3.31
	東御市	指令4生環第109号	R7.4.1	R9.3.31
	小諸市	指令第390号:9	R7.9.24	R9.9.23
	長野市	10135	R8.4.1	R10.3.31
	中野市	指令4第260号	R8.4.1	R10.3.31
	坂城町	指令20坂住第24-1号	R8.4.1	R10.3.31
	青木村	青環衛第22号	R7.4.1	R9.3.31
	長和町	R6-13	R6.5.20	R8.5.19

② 産業廃棄物処分業許可 事業の範囲(中間処理)

処理方式 種類	破碎	圧縮	圧縮梱包	切断	溶融固化
廃プラスチック類	○		○		
木くず	○		○	○	
金属くず *1	○				
金属くず		○			
ガラスくず	○				
コンクリートくず及び陶磁器くず	○				
がれき類	○				
紙くず			○		
繊維くず			○		
廃プラスチック類 *2					○

*1・・・磁気ディスク装置、光ディスク装置その他の記憶用電気機械器具に限る。

*2・・・廃発泡スチロールに限る。

③ 産業廃棄物収集運搬業許可 事業の範囲

取り扱う産業廃棄物の種類 (特別管理産業廃棄物を除く。)	積替保管	*○:取り扱うもの ◎:積替え又は保管行為を含むもの			
		石綿含有 産業廃棄物	水銀使用製品 産業廃棄物	水銀含有 ばいじん等	自動車等 破碎物
燃え殻	-	-	-	-	-
汚泥	有	◎	◎	-	-
廃油	-	-	-	-	-
廃酸	-	-	-	-	-
廃アルカリ	-	-	-	-	-
廃プラスチック類	有	○	◎	-	-
紙くず	-	-	-	-	-
木くず	-	-	-	-	-
繊維くず	有	-	-	-	-
動植物性残さ	-	-	-	-	-
金属くず	有	-	◎	-	-
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	有	◎	◎	-	-
銚さい	-	-	-	-	-
がれき類	有	◎	-	-	-
ばいじん	-	-	-	-	-

④ 積替え又は保管を行う産業廃棄物の種類と、保管上限及び保管面積、高さ上限

取り扱い産業廃棄物の種類	面積	保管上限	高さ上限
汚泥(石綿含有産業廃棄物を含む。)	4.84㎡	4㎡	-
廃プラスチック類	77㎡	85.05㎡	1.9m
繊維くず	13.5㎡	8㎡	-
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	13.5㎡	8㎡	-
がれき類	13.5㎡	8㎡	-
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、 がれき類の混合物(石綿)含有産業廃棄物を含む。	13.5㎡	8㎡	-
廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び 陶磁器くずの混合物(水銀使用製品産業廃棄物を含む。)	5.4㎡	1.4㎡	-
廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び 陶磁器くずの混合物(水銀使用製品産業廃棄物を含む。)	5.4㎡	1㎡	-
汚泥、金属くずの混合物(水銀使用製品産業廃棄物を含む。)	0.72㎡	0.4㎡	-

⑤ 産業廃棄物中間処理施設の種類、処理する廃棄物の種類及び処理能力

施設の種類	廃棄物の種類	処理能力
破砕施設 い	廃プラスチック類	36.96t/日(4.62t/h:8時間稼働)
	木くず	36.8t/日(4.6t/h:8時間稼働)
破砕施設 ろ	ガラスくず・コンクリートく ず及び陶磁器くず	4.5t/日(0.566t/h:8時間稼働)
	がれき類	4.5t/日(0.566t/h:8時間稼働)
破砕施設 は	ガラスくず・コンクリートく ず及び陶磁器くず	4.48t/日(0.56t/h:8時間稼働)
圧縮施設	金属くず	35.52t/日(4.44t/h:8時間稼働)
圧縮梱包施設	廃プラスチック類	16t/日(2t/h:8時間稼働)
	紙くず	25.12t/日(3.14t/h:8時間稼働)
	木くず	37.28t/日(4.66t/h:8時間稼働)
	繊維くず	19.92t/日(2.49t/h:8時間稼働)
切断施設	木くず	7.2t/日(0.9t/h:8時間稼働)
破砕施設 に	廃プラスチック類	0.128t/日(0.016t/h:8時間稼働)
	金属くず	2.016t/日(0.252t/h:8時間稼働)
熔融固化施設	廃発泡スチロール	0.184t/日(0.023t/h:8時間稼働)

⑥ 産業廃棄物の処理実績(受託した産業廃棄物の処理量)

収集運搬量	中間処理量	最終処分量
1,864t	3,234t	1,123t

⑦ 一般廃棄物処分業許可 事業の範囲

・事業の区分

一般廃棄物の処分

破袋、選別、圧縮、梱包、破砕(保管を含む)

・一般廃棄物の種類

紙くず、木くず、繊維くず、廃プラスチック類(容器包装リサイクル法適用プラスチックを含
む)、金属くず、ガラスくず、陶磁器くず、スプレー缶及びライター

⑧ 一般廃棄物の積替え施設の面積及び保管上限

廃棄物の種類	保管場所面積	保管上限
資源物(ビン)	40.26㎡	44㎡

⑨ 一般廃棄物中間処理施設の種類の種類、処理する廃棄物の種類及び処理能力

施設の種類の種類	廃棄物の種類	処理能力
破袋機及び手選別コンベア	不燃ごみ	4.5t/日(5時間稼働)
破碎施設 い	廃プラスチック類	36.96t/日(8時間稼働)
選別圧縮梱包施設	廃プラスチック類	13.84t/日(8時間稼働)
圧縮施設	金属くず	35.52t/日(8時間稼働)
空き缶プレス機	金属くず(空き缶)	4.8t/日(5時間稼働)
スプレー缶及びライター等破碎機	スプレー缶及びライター等	0.57t/日(8時間稼働)
破碎施設 ろ	ガラスくず等	4.48t/日(8時間稼働)

⑩ 廃棄物処理工程表

廃棄物の種類	処理方式	中間処理後
紙くず	圧縮梱包	再生、焼却
繊維くず	圧縮梱包	再生、焼却
廃プラスチック類	破碎	安定型埋立
	圧縮梱包	再生
	溶融固化	売却
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	破碎	再生、安定型埋立
がれき類	破碎	再生、安定型埋立
金属くず	破碎	売却、再生
	圧縮	売却
木くず	切断	売却
	破碎	売却、再生

⑪ 収集運搬車両の種類と台数

種類	免許の種類			中型	大型
	普通	準中型	中型 (8t)に限る		
キャブオーバ	2	1	1		
ダンプ	1	3	1		1
脱着装置付き コンテナ専用車	1	2	2	1	3
塵芥車		10	2	1	

2. 環 境 経 営 方 針

環 境 経 営 理 念

株式会社ウェルサイクルは廃棄物を創意無限の技術や知恵で、資源として分別・再生し、地球環境に貢献します。そして、次世代に為に安らぎと潤いのある環境を目指します。

行 動 指 針

1. 当社に適応される環境に関する法規等を遵守する。
2. 環境経営目標・環境活動計画を定め、継続的な改善に努める。
3. 一般廃棄物排出量を削減する。
4. 二酸化炭素排出量を削減する。
 - ① 工場内廃棄物中間処理施設・事務所の電気使用量を削減する。
 - ② 収集運搬車両・工場内重機類の燃料使用量を削減する。
5. 水の使用量を削減する。
6. 受託した廃棄物の再資源化を推進する。
7. 社員全員に活動内容を周知徹底する。

2013年4月18日 制定
2024年1月31日 改定

代表取締役 副社長 小山 和彦

3. 環 境 経 営 計 画

< 取り組みの具体的な内容 >

【 全 社 員 】

- ・ 休憩所、事務所の節電
- ・ 一般廃棄物の分別を徹底し、排出量を削減
- ・ 水道水の節水

【 収 集 運 搬 部 ・ 営 業 部 】

- ・ エコドライブ、安全運転の徹底
- ・ 収集ルート効率化
- ・ 洗車時の水量の適正化

【 事 務 部 ・ 業 務 部 ・ 営 業 部 】

- ・ 書類の電子化の推進
- ・ 裏紙使用
- ・ 特定非営利活動法人への支援活動の継続(社会貢献)

【 工 場 部 】

- ・ 中間処理施設の節電
- ・ 重機類、ショベルローダー等の安全運転の徹底
- ・ バイオマス発電用木質燃料チップの生産量の安定化と品質の保持
- ・ 中間処理施設での適正な水使用

4. 環 境 経 営 目 標

項目	単位	2024年度	基準値比	2025年度	2026年度	2027年度	
		基準値		99%	98%	97%	
電気使用量	kwh	158,142	目標値	156,561	154,979	153,398	
	kg-co2	72,587		71,861	71,135	70,409	
運搬車両・重機類・自動車の燃料使用量	ℓ	137,116		135,745	134,374	133,003	
	kg-co2	351,506		347,991	344,476	340,961	
CO2総排出量	kg-co2	430,390		426,086	421,782	417,478	
環境効率指標 (co2総排出量/売上高)	kg-co2/ 百万円	569		564	558	552	
水使用量	m3	883		874	865	857	
一般廃棄物排出量	kg	324		321	318	314	
木屑チップの生産量の安定化	t	2,643		基準値比	100%前後	100%前後	100%前後
				目標値	2.643前後	2.643前後	2.643前後
社会貢献	—	活動の継続	目標値	活動の継続	活動の継続	活動の継続	

※中部電力の二酸化炭素排出係数は0.459kg-CO2/kWhを使用しました。

5. 環 境 経 営 計 画 の 実 績 と そ の 評 価 , 次 年 度 の 取 組 み 課 題

・ 実績とその評価

項目	単位	2024年度	2025年度	2025年度	評価
		基準値	目標値	実績値	
電気使用量	kwh	158,142	156,561	152,590	○
	kg-co2	72,587	71,861	70,038	
運搬車両・重機類・自動車の燃料使用量	ℓ	137,116	135,745	137,995	×
	kg-co2	351,506	347,991	353,655	
CO2総排出量	kg-co2	430,390	426,086	428,465	×
環境効率指標 (co2総排出量/売上高)	kg-co2/ 百万円	569	564	600	×
水使用量	m3	883	874	992	×
一般廃棄物排出量	kg	324	321	316	○
木屑チップの生産量の安定化	t	2,643	2643前後	2,654	○
社会貢献	—	活動の継続	活動の継続	活動の継続	○

・ 次年度の取組み課題

項目	目標等の変更の必要性				次年度の取組み課題
電気使用量	<input type="checkbox"/>	有	<input checked="" type="checkbox"/>	無	目標達成できたが、来年度の経過を見守る。
燃料使用量	<input type="checkbox"/>	有	<input checked="" type="checkbox"/>	無	業務内容の変化により目標未達だが、来年度の経過を見守る。
水使用量	<input checked="" type="checkbox"/>	有	<input type="checkbox"/>	無	目標値を実態に近づけるため、来年度は目標を前年度に変更する。
一般廃棄物排出量	<input type="checkbox"/>	有	<input checked="" type="checkbox"/>	無	特になし。
木質チップの生産量の安定化	<input type="checkbox"/>	有	<input checked="" type="checkbox"/>	無	生産量は安定化できているので継続していく。
社会貢献	<input type="checkbox"/>	有	<input checked="" type="checkbox"/>	無	特定非営利活動法人との関係を持続していく。

6. 環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果

法規制等の名称	遵守状況
廃棄物処理法	○
騒音規制法	○
振動規制法	○
NOx・PM法	○
消防法	○
悪臭防止法	○
グリーン購入法	○

上記の環境関連法規制等について、過去三年間違反及び訴訟はありませんでした。
近隣からの苦情などありませんでした。

7. 代表者による全体の評価と見直し

エコアクションに取り組み、あつという間の10年でありました。

紆余曲折がありましたが、継続できていることに感謝いたします。

10年目は電気使用量はクリアしましたが、燃料使用量、水使用量の目的は達成されませんでした。

しかし、いずれもあと僅かな数値なので、概ね満足の結果となっています。

軽油に関しては遠方への運搬増が考えられます。

水道に関してはトイレの増設と洗車場の使用増が考えられます。洗車場は当社使用だけでなく、

協力会社の希望で使用する事になったため増加と考えられます。

売上も昨年減で経費は増え利幅が減ってきていますが、政府が目指す所得アップの為の措置を行い

昨年度も平均3.5%のベースアップを行ってきました。一昨年の平均5%ベースアップには及びません

でしたが、社員の就業意欲を高めるための努力は今後もして行かなければなりません。

福利厚生事業としては、会社半額負担の野菜ペイを導入し、喜んで使用いただいております。

しかし、現況処理費や運賃を上げる事はできず、如何に二次処理単価を下げる努力が必要とされています。

昨年中に計画をしていた木くずの破碎施設増設が遅れ、令和8年4月目途に整備中です。

引き続き事業承継が悩みの種となっていますが、現状を維持しながら魅力的な会社経営を常に考え、

設備投資による人材確保と社員の意識向上を念頭に模索し、運営して行ければと思います。